

科目名 (英)	コミュニケーション技術A (Communication Skill A)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	介護福祉士科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30	開講区分 曜日・時限	前期 水曜、1時限目
【授業の学習内容】 介護を必要とする者の理解や援助的関係、援助的コミュニケーションについて理解するとともに、利用者や利用者家族、あるいは多職種協働におけるコミュニケーション能力を身に付けることができる。具体的には「介護におけるコミュニケーションの基本」、「介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション」、「介護におけるチームのコミュニケーション」について理解ができる。 ※実務者経験:①福祉施設等に所属していた。主業務は障害児者及び高齢者の介護業務を担当していた。※取得資格:介護福祉士 ②福祉施設等に所属していた。主業務は高齢者の介護業務及び相談支援を担当していた。※取得資格:介護福祉士 ・ 社会福祉士							
【到達目標】 介護を必要とする者の理解や援助的関係、援助的コミュニケーションについて理解するとともに、利用者や利用者家族、あるいは多職種協働におけるコミュニケーション能力を身に付けることができる。具体的には「介護におけるコミュニケーションの基本」、「介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション」、「介護におけるチームのコミュニケーション」について理解ができる。							

授業計画・内容	
1回目	「介護におけるコミュニケーション①」…コミュニケーションの意義と目的について理解できる。
2回目	「介護におけるコミュニケーション②」…コミュニケーションの基本について理解できる。
3回目	「介護におけるコミュニケーションの役割」…利用者・家族との信頼関係の構築方法について理解できる。
4回目	「利用者・家族とのコミュニケーション①」…援助者に必要な話を聴く技法について理解できる。
5回目	「利用者・家族とのコミュニケーション②」…援助者に必要な感情表現を察する技法について理解できる。
6回目	「利用者・家族とのコミュニケーション③」…援助職に必要な納得と同意を得る技法について理解できる。
7回目	「利用者・家族とのコミュニケーション④」…援助職に必要な質問の技法について理解できる。
8回目	「利用者・家族とのコミュニケーション⑤」…援助職に必要な相談・助言・指導の技法について理解できる。
9回目	「利用者・家族とのコミュニケーション⑥」…援助職に必要な障害の特性に応じたコミュニケーションの基本的技法について理解できる。
10回目	「利用者・家族とのコミュニケーション⑦」…援助職に必要な双方の意向を調整する技法や、障害の特性に応じた対応方法について理解できる。
11回目	「チームのコミュニケーション①」…チームコミュニケーションについての概要とその方法について理解できる。
12回目	「チームのコミュニケーション②」…記録の意義と目的について理解できる。
13回目	「チームのコミュニケーション③」…記録の種類について理解できる。
14回目	「チームのコミュニケーション④」…記録の書き方と留意点について理解できる。
15回目	「チームのコミュニケーション⑤」…記録の活用・情報の保護と管理について理解できる。
準備学習 時間外学習	準備学習…授業に臨むにあたって、教科書の内容を熟読しておく必要があります。 時間外学習(復習)…各単元の講義後に確認テストを実施します。講義の復習が必要です。
評価方法	成績の評価は、「試験」の点数で100点満点とする。「試験」には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験の評価などが含まれる。
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 教科書：新・介護福祉士養成講座⑤「コミュニケーション技術」（中央法規出版）	